



日本実験動物技術者協会



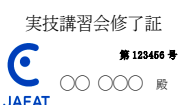
関東支部
実験動物実技講習会

微生物統御

講師・指導員・受講生との意見交換

講習会の初日終了後には意見交換会が開催されます。ここでは講習会を担当された講師・指導員をはじめ、他機関から参加された受講生の方とも、活発な意見交換がされます。多くの方々とつながりを持つことで、今後の情報交換のきっかけ作りができます。

質疑応答・修了書授与



貴殿は日本実験動物技術者協会第357回本部共催実技講習会（実験動物の感染症と検査および微生物クリーニング）に参加され、その課程を修了したことをここに証します。

平成00年00月00日
日本実験動物技術者協会 関東支部
支部長 △△ △△△

講義・実習終了後には講習会中や日常業務などでの疑問点を講師・指導員へ質問し、専門的なアドバイスを受けることができます。

全日程終了後には日本実験動物技術者協会関東支部より発行される修了書が支部長より授与されます。

講習会開催予定時期

例年秋季（9～10月頃）に実技講習会を開催しております。

開催概要は支部会報4月号に掲載後、関東支部ホームページ等でご案内いたします。

情報は順次更新されますので、講習会受講をご希望されます方は、支部会報ならびに関東支部ホームページをご確認ください。

* 講義・実習の内容、開催日程は都合により変更する場合があります。

関東支部ホームページ

<http://www.jaeat-kanto.jp/>

上記URLより「講習会・専門部会」の項を参照してください。

< 事務局 >



（一社）日本実験動物技術者協会関東支部
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部動物実験センター内
TEL・FAX 03-3353-7703
<http://www.jaeat-kanto.jp/>

微生物統御

動物実験を適正に実施するには供試動物の微生物統御が必要です。実験動物における微生物統御は、動物の微生物検査・微生物モニタリング・微生物クリーニングや、施設の微生物モニタリング・微生物学的清浄化、および器材・器具の消毒・滅菌、などを連携する必要があります。

本講習会は微生物統御に関する知識・技術について考え、理解を深めることで、適正な微生物統御の実践につながることを目的としています。

教育訓練(動物実験と動物福祉)

本講習会受講にあたり、関東支部動物実験委員会より、法律・指針・基準および適正な動物実験計画をもとにした動物実験の実施についての解説をいたします。また、動物福祉の教育訓練として実験動物福祉部会より、人道的動物実験の原則(3Rs)、人道的エンドポイントの適用ならびに、鎮痛、麻酔、安楽死などについての解説をいたします。

実技講習会の趣旨・内容

本講習会は、実験動物技術者として欠かせない基本的な動物実験技術の修得を目的としています。また、本講習会を通じて、動物に対する福祉的配慮や、動物実験を行う際の技術者の心構えを伝える事も意識しています。

講習はマウス・ラットを対象にして、日常の業務に直ぐにでも反映可能な内容で構成しています。

< 講習内容 >

マウス・ラットを対象とした講義・実習

【講義】

- ・消毒薬について
- ・主要感染症
- ・微生物検査
- ・異常動物発見から対応
- ・微生物クリーニング
- ・微生物モニタリング



【実習】

- ・感染動物を含めた解剖・培養・診断
- ・子宮切断術による帝王切開
- ・消毒薬の効果の判定
- ・微生物統御された飼育施設の見学*
- ・感染症検査を行う施設の見学*

* 施設見学については施設の都合により変更、中止する場合があります。



微生物検査講義・実習

精度の高い微生物検査の実施のためには、適正な検査法を用いた検査の実施と、得られた結果を正しく解析することが重要です。そのためには、まず微生物に関する正しい知識をもつことと、各種検査法の特徴を理解することが必要です。

本講習会では微生物検査の流れ、検査に必要な器材、検査個体の外観観察(臨床症状)、採血・血清分離、血清反応、培養検査、鏡検、などについて講師による解説を受けることができます。また、一般動物を用いた微生物検査実習、感染動物を用いた外観観察、細菌同定検査キットによる検査実習を行います。また、実際に培養された各種細菌病原体のサンプル、消化管内原虫、外部寄生虫などを観察することができます。



微生物クリーニング講義・実習

本講習会では「動物」を対象とした微生物学的な清浄化を測ることを目的とし、微生物クリーニングをおこなうための基礎知識の講義と、子宮切断術を用いた帝王切開の実技講習をおこないます。

